

改善提案書

部署

氏名

直通または内線TEL

日付

現 状

回収頻度は排出量の多少により、毎週もしくは月2回～3回。
回収費は体積又は重量のどちらかにて契約されている。



改善案

- ・かさばる廃棄物は、保管スペースをムダにしたり、運搬に大変手間が必要となる。廃棄物減容圧縮による保管スペース減少、排出容量の低減による廃棄処理コストの削減。

メリット

- ・回収業者への依頼頻度減少による時間的メリット。
- ・輸送回数減少によるCO2削減。

改善の
ために
必要な
機材等

- ・動力単相100V 三相200V対応あり

効 果

- ・産業廃棄物容積減少、製品保管面積増大
(事例)

導入前状況

排出量：8 m³ X 4回/月 (= 32 m³ /月)

処理費用：8 m³ 1回の引取費用が¥50,000の場合

月当りにかかる費用→¥50,000 X 4回=¥200,000/月 ①

導入後状況

圧縮時の減容率：約25% (約4分の1) とした場合→32 m³ X 0.25 = 8 m³

導入後の排出量：8 m³ X 1回 /月

導入後の処理費用：¥50,000 X 1回=¥50,000/月 ②

効果金額：¥200,000 - ¥50,000 = ¥150,000/月 ③

(① - ②)

* 上記参考例→月額15万円の処理費削減 125万÷15万/月=8.3ヶ月
(減容機NCP本体価格¥125万円投資費用償却は約1年で可能)